

支援プログラム

事業所名

地域密着×運動特化型放課後等デイサービス ケスイバ・デポル宇宿

作成目

令和7 年

月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

法人理念		「誰かのために、社会のために。意味のある支援を。」 「地域、家庭、学校と連携する、つながる発達支援」											
事業指針								行動指針					
やってみようの精神を大切に								・最大限の経験値の獲得を行います。 ・見える、学べる、変わるという視点を常に持ちながら可能性を切り開いていきます。					
信頼とは何かを考え、信頼を土台にチャレンジしよう								・地域住民や関係機関にとって安心できる事業所であり続けます ・何事にも周りへの感謝を忘れずに丁寧な対応を行います					
得意を活かした最強のチーム作り								・誰もが思いや考えを発信できる環境を整え、互いに学び合い成長し、関係する様々な方へ還元をします ・自分を認め、一緒に働くスタッフを認め信頼し、チームで歩む意識を持ちお互いの強みを活かしたチーム作りを行います					
事業所理念		「未来」のために「今」できることを。											
支援方針		・人との関り、地域での活動の中でたくさんのことを経験し、感情を豊かに表現する。五感全てにアプローチし「できないこと」を「できること」へ。「できること」を「得意な事」へ											
特徴		多職種、関連事業所連携によるチーム療育 人、地域との交流を取り入れた集団療育						ポイント		① 集団で行う運動療育の中で「心」と「体」へアプローチ ② 利用者、保護者が相談しやすい環境やシステム ③ 経験、体験の中で利用者の可能性を探し、伸ばしていく			
営業時間		平日	13 時	3 0	分	1 7	時	3 0	分	送迎実施の有無	迎え	有	学校、児童クラブ、ご自宅へお迎えにいきます
		学休日	1 0	時	0 0	分	1 6	時	0 0		分	送り	有
支 援 内 容								主なプログラム内容					
本人支援	健康・生活	・日常生活を営む上で必要となる基本的技能の習得を図るプログラム。 ・視覚情報の提示や環境調整による子どもの障害特性に合わせたプログラム。 ・構造化を図った環境面から行動学習を促すプログラム ・体験活動やゲーム活動を通した興味の幅や知恵の獲得を図るプログラム						危険予知トレーニング（災害編 お留守番編 街歩き編 学校編 自宅編等） 生活訓練（調理訓練 体力向上プログラム 買い物体験 移動訓練（乗り物体験 時間管理、スケジュール作成 等）					
	運動・感覚	・姿勢保持や手足の協調運動を養うプログラム ・感覚、認知の特性を踏まえた感覚遊びのプログラム環境調整等の支援						粗大運動（ひっくり返し競争 宝取りゲーム しっぽ取りゲーム リレー チームスポーツ（ドッチボール 野球 サッカー等） 感覚運動（玉入れ サークット スポーツチャンバラ等）					
	認知・行動	・感覚を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すプログラム ・制作活動や身体遊びを通して感覚を養うプログラム。 ・概念形成を促し、それを認知や行動の手掛かりにするプログラム						注意集中カプログラム（気配切り 宝探しゲーム 等） 想像性プログラム（連想ゲーム 廃材制作 アート制作 等）					
	言語コミュニケーション	・体系的な言語の習得を促す支援プログラム ・他者の意図や思いを理解するなど需要を促すプログラム ・自分の考えを伝えたりするなど自己の表出を促すプログラム						フレームコミュニケーション（私は誰でしょう クエストビンゴゲーム 輪ゴムキャッチャー ジェスチャーゲーム 絵しりとり 等） フリーコミュニケーション（ ラウンジゲーム ビンゴゲーム トランプ UNO 等）					
	人間関係社会性	・遊びを通じて人との関わりや、ルールを養うプログラム。 ・人の行動や動きから社会性や対人関係の芽生えを促すプログラム。 ・自己理解と感情のコントロールを養うプログラム						ソーシャルトレーニング（カードゲーム 勝敗ゲーム 協力ゲーム 等） 社会性マナートレーニング（時間管理 整理整頓 自由活動 等）					
家族支援		利用者の家族と定期的に面談を行い、利用者の現在の状態の共有、今後の方針などについて話せる機会を設ける。 SNS（公式LINEやInstagram）での情報発信、随時相談が可能なシステムの導入						移行支援		学習面サポートを通し、移行に向けた相談支援 個のスキルアップを通して、得意を活かした自立に向けた支援			
地域支援・地域連携		他事業所との交流会 地域資源を活用したプログラム 他職種、他機関との連携を通しサービスの充実を図る支援 地域病院（公認心理士等）と連携し社会能力検査と支援方針への汎化						職員の質の向上		毎月の研修会（基礎知識の向上） 役割と責任を通したチーム構成による事業所運営（思考、実行、成功体験の向上） ICTを活用した情報共有			
主な行事等		・利用者、利用者家族が参加可能なスポーツ大会、祭り等を開催。その他、家族参加型のイベントを随時開催 ・保護者会の開催											

ケースイバ・デポル宇宿
支援理念「安心、安全で豊かな体験を通して、自分らしく生きる力を育みます」

